

離職率 5%まで低下 3カ月に一度の飲み会開催で成果 社員間の業務理解が深化 協力し合える仕組みづくり 社員が記者となり相互理解を促進する部活動「広報部」も新設

情報通信事業を行う株式会社コラボス（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：茂木 貴雄）は、社内の飲み会に補助金を支給する『コミュニケーション促進制度』をつくり実行したことで社内交流が活性化され、離職率が2016年の約20%から5%にまで低下しました(2019年12月10日発表)。

当社は国内におけるクラウド型コールセンターシステムのパイオニアであり、コールセンターはコミュニケーションの要となる場所です。そのシステムを提供している会社として、自社の取り組みでもコミュニケーション促進を重視し、成果を出しています。

■お互いの仕事を理解する場、実のある“飲みニケーション”で離職率低下に

当社は、2016年に『コミュニケーション促進制度』を制定。3カ月に一度、部署単位で社員が集まって飲み会を開き、会社が補助金を支給することで、社員のコミュニケーションの促進を支援しています。社員は定期的にお酒やおいしい食事をとりながら、仕事に対する思いや今後のキャリア、パーソナルな悩みまで、今感じていることを熱く語り合います。これにより、お互いの性格や業務に関する理解が深まることで、親身になって助け合う精神が生まれ、働きやすい環境が形成されています。

また、夜の外出が難しいワーキングマザーがいる部署では、ランチや自宅でのホームパーティにも補助金を認めることで、より多くの社員の制度利用を可能にしています。

結果として、全社の離職率低下につながり、ついに今年度は20%前後だった離職率が初のひと桁となる5%までになりました。



社内では「コミュ促」と呼ばれる飲み会風景



‘08卒入社社員へのインタビュー風景
ました。

■部活動としては珍しい「広報部」を新設 社員の相互理解を促進

当社は、他部署の社員との交流の促進や相互理解、日頃接点のない幹部と社員が知り合える機会創出など、社内のコミュニケーションの活性化の目的で社内部活動にも力を入れており、補助金を支給し活動の支援を行っています。これまで、フットサル部・バスケットボール部・卓球部・ヨガ部・写経部が活動していましたが、2019年4月から「広報部」を新設し

「広報部」は、社内広報を部活動として行うことで、広報担当者だけでなく、全社員が広報の精神を学べるようにしています。また、社員インタビューなどの記事を毎週 1 記事ずつ社内ホームページに公開しており、社員間の新たな交流も生まれ、自社への理解もさらに深まっています。



広報部ホームページのTOP画面

■ 7年連続増収増益 コミュニケーション重視の社風が数字に反映

当社は2019年3月期も増収増益、過去最高売上高及び営業利益を達成しており、7年連続で右肩上がりを継続しています(右図)。2020年3月期も増収増益を見込んでいます。このような安定した成長を続けられるのは、コミュニケーションの促進により、社員同士がお互いの業務を理解して、協力し合える体制が築けているからだと考えています。



当社は今後も、コミュニケーションを大事する社風で成長を続け、社会の発展の一翼を担う存在となることを目指していきます。

<株式会社コラボス 会社概要>

設立：2001年10月

代表者：代表取締役社長 茂木 貴雄

本社：東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー17F

資本金：324百万円(2019年3月31日時点)

売上高：1,968百万円(2019年3月期)

従業員数：61名(2019年3月31日時点)

電話番号：03-5623-3391

会社HP：<https://www.collabos.com/> (採用ページ：<https://www.collabos.com/recruit/>)

事業内容：コールセンター向けクラウドサービスの提供、通信事業(A-13-5032)

当社では、お客様相談室や製品問い合わせなどのコールセンターで利用されるシステムを、企業が手軽に利用できるクラウド型サービスとして提供しています。コールセンター立ち上げの提案から構築、運用までをトータルでサポートすることで、コールセンターに必要なとされる機能をワンストップで提供。国内におけるクラウド型コールセンターシステムのパイオニアであり、約700拠点の導入実績を有しています。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社コラボス 戦略人事課 担当：向井(むかい)

電話：03-5623-3391 FAX：03-5608-3281

メール：mukai@collabos.com